

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2007-5283(P2007-5283A)

【公開日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-38236(P2006-38236)

【国際特許分類】

H 05 G 1/02 (2006.01)

H 05 G 1/06 (2006.01)

【F I】

H 05 G 1/02 P

H 05 G 1/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月6日(2009.1.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器内にX線管、高電圧発生回路、および絶縁油を収容し、容器の外壁面の一部に放熱効率を向上させる放熱機構を設けた一体形X線発生装置において、

容器内に1個以上の放熱用開口と複数個の絶縁材料から成る壁面を有する筐体を備え、該筐体はその放熱用開口が容器の放熱機構を設けた壁面(以下、冷却壁面という)に対向するように配設され、前記筐体内に容器内の主な発熱部と一部の絶縁油とが内包されること

を特徴とする一体形X線発生装置。

【請求項2】

請求項1記載の一體形X線発生装置において、

前記主な発熱部がX線管の陽極であること

を特徴とする一体形X線発生装置。

【請求項3】

請求項1又は2記載の一體形X線発生装置において、

前記放熱機構は放熱フィンと冷却ファンとから構成され、前記放熱フィンが前記容器の冷却壁面の外側に設置され、前記放熱フィンに対向して前記冷却ファンが配設されていること

を特徴とする一体形X線発生装置。

【請求項4】

請求項1乃至3いずれか1項記載の一體形X線発生装置において、

前記容器の壁面に1個以上の通気孔を設け、該通気孔に防塵用のフィルタを装着したこと

を特徴とする一体形X線発生装置。

【請求項5】

請求項1乃至3いずれか1項記載の一體形X線発生装置において、

前記筐体内に収納された発熱部と前記容器の冷却壁面との間に、熱伝達率の高い電気的絶縁物質を介在させたこと

を特徴とする一体形X線発生装置。